

④地場産品と人を活かした和泉地区プロモーション業務 (定員1名)

大野市の和泉地区は、若者の流出や高齢化が進み、地域活力の低下や観光客の減少などが懸念されており、「和泉自治会」が中心となって地域課題の解決に取り組んでいます。そこで、和泉自治会と連携して、和泉地区の現状を外から客観的に捉えて、地域活性化の方策を企画し、住民と一緒に実行してくれる隊員を募集します。

なかでも、和泉自治会が100%出資して設立した「株式会社 九頭竜の贈り物」では、穴馬かぶら、きのこ、山菜などの地場産品を活かした商品開発や販売に取り組んでおり、都市部の人材ならではの視点から経営に携わっていただける方を求めています。

「地場産品」の開発・販売を通して地域外から人や財を呼んでくる取組みや、「住民(人)」との交流や話し合いを通して地域課題の解決につなげる取組みなど、あなたの発想力・行動力を活かして、和泉地区をプロモーションしてみませんか。

【和泉地区ってこんなところ】

和泉地区は、人口約450人、大野市の東の端に位置し、すぐ隣が岐阜県です。四方を山々に囲まれ、真ん中に清流の九頭竜川が流れています。

春は桜と新緑、夏は満天の星空の下でのキャンプ、川遊びやダム湖でのカヌー、秋は紅葉、冬は近くのスキー場でのスノーアクティビティを満喫できる場所です。((´▽`))

【和泉自治会の運営体制】

和泉自治会は、「ここに生き続けられるために」をスローガンに、「人・伝統文化チーム」、「生活チーム」、「産業チーム」の3つのチーム体制で地域課題解決の話し合いを行い、各チームの発案を住民が主体的に実行し、地域力の向上につなげています。

【和泉自治会のここがスゴイ！】

和泉自治会では、「和泉地区地域づくり計画」に基づき、3つのチーム体制で地域課題の解決に取り組んでいます。コンビニエンスストアの誘致や空き店舗を活用した住民の交流の場づくり、未利用農林産物を活用した地場産品を扱う株式会社 九頭竜の贈り物の設立など様々な取組が評価され、令和2年度過疎地域優良事例表彰で「総務大臣賞」を受賞しました。

<株九頭竜の贈り物の取組例>



住民が育てる野菜や山で採れた山菜などを塩漬けし、ピクルスなどに加工して、地元の道の駅などで販売しています。商品の袋詰め作業をしています。



穴馬かぶらは、冬の雪が積もった土の中で過ごすことで強い甘みが出るのが特徴です。これを「雪乃下 穴馬かぶら」として売り出し中です。

業務概要	(1)和泉自治会、(株)九頭竜の贈り物や道の駅などと連携し、特産品開発や販売などに取り組む。 (2)和泉地区の自然や歴史、観光の情報を SNS などを活用して情報発信に取り組む。
募集要件 特記事項	農林業に興味がある方、田舎暮らしが好きな方、仲間作りが上手な方、大自然で遊びたい人
勤務地	和泉地区(和泉自治会、(株)九頭竜の贈り物、和泉地区区長会、和泉公民館などの団体と連携)
担当課	大野市役所 地域づくり部 地域文化課